

第2回「高森山でツツジを見よう会」にぎわう 薄紫に染まる里山 138人が散策楽しむ

うららかな晴天に恵まれた3月27日、「第2回高森山でツツジを見よう会」が高森山公園で開かれた=写真。「高藏寺どんぐり s」に加え「UR都市機構中部支社」との初の共催で、予想を上回る138人が参加。周辺の桜と競うように満開のコバノミツバツツジの群生で薄紫色に染まる里山の散策を楽しんだ。

参加者はニュータウン周辺のほか、犬山市や江南市など遠方からもあった。10人ほどのグループに分かれ、ガイド役の会員に導かれながら散策路を巡った。「花はまだですが、このモチツツジは名前のように葉をもむとモチモチするでしょ」「ギフチョウの幼虫の餌となるカン

役員会から（2月20日）

●定期総会を5月22日（土）に開催することを決めた。悩ましかったのはコロナ対策。昨年のように書面で、との意見もあったが、2年続けて会合ができるのはいかにもつらい。間隔をあけ、マスク着用、手の消毒など配慮すればなんとかしのげるだろう、と開催にまとまった。ただし、総会後の記念講演や歌声サロンなどのイベントは無理と残念ながら見送ることにした。●「高森山でツツジを見よう会」に138人の方が来てくれたことは想定外だった。昨年の参加者は32人、秋の「紅葉を見よう会」は59人。「60人は超えたい」と思うのが大方だった。ニュータウンだけでなく遠方からの人も目立った。URの共催参加や昨年の倍の千枚のチラシを配った成果か。市公園緑地課のご厚意で、公園内の臨時駐車場が利用できたお陰で混乱はなかった。これ以上参加者が増えたら、新たに駐車場を探す必要がありそうだ。（明賀 雄二）



アオイも生えていますよ」などガイドの説明に耳を傾けていた。散策の後はグランドで保護色のオモチャの昆虫や動物を探す「カモフラージュ」や「コウモリとガ」など「ネイチャーゲーム」で盛り上がった。

参加者からは「自然の中で遊べて子供が喜んでいた」「思いがけないほど花がきれいで楽しかった」などの感想が聞かれた。ただ、コロナ対策で間隔をあけたため、「後ろの方ではガイドの声が聞こえにくかった」との苦情もあり、今後の課題となった。参加者のアンケートでは、回答した全員が「楽しかった」「まあ楽しかった」と記入して下さった。今後望む活動では植物などの「自然観察」が最も多い。参加者が予想を超えて用意したアンケート用紙が足りなくななどうれしい誤算もあった。（明賀 雄二）

「どんぐり s」定期総会、5月22日

「高藏寺どんぐり s」の定期総会を以下の要領で開催いたします。

●日 時：5月22日(土) 13:30～14:30

●場 所：東部市民センター2階会議室

*コロナ禍を考慮し、恒例となっていた終了後の講演やイベントは見送ります。参加される方はマスクの着用をお願いします。

ニュータウンの空き家対策 相談会軸に流通・活用を促進

空き家は全国で約849万戸と過去20年で1.5倍に増加した。ここ高蔵寺ニュータウンでは、昨年10月に行われた、春日井市の「第3回空き家等対策協議会」の会合で、ニュータウンの空き家は、3年前に比べ、一部地域を除きむしろ減少していることが示された。しかしながら、団塊の世代等がさらに高齢化するにつれ、空き家が増えていくことは大いに予想される。

春日井市では、現在、商工会議所の空き家バンクのような登録制でなく、空き家の相談会を開き、具体的な解決に結びつけようとしている。今年1月17日にも「空き家セミナー＆無料相談会の開催」が予定されていた（コロナ下で中止

私の朝・昼・晩

フランス・ニース一人旅 ①

一昨年の冬、コートダジュール・ニースに、趣味の絵の素材を求めて初の欧洲一人旅に挑戦。航空機、ホテル、観光通訳をすべてネットで予約し、まったくのフリーな旅です。

最初に困ったのは、ドゴール空港でのトランジット。巨大な空港で、搭乗した飛行機がどこに到着してニース行きの国内線はどこから出発するのかが皆自分からず、心細くなつたもののさすがに観光の国、色分けされた通路を行くと、たった15分でカウンターに到着し一安心。また、ニースから列車で駅2つ目にある有名な港町へ行った際、自販機での往復切符の買い方に一苦労。でも着いた港町は地中海の光と風に満ち溢れ大満足。坂が多い町中を散策した後、ランチの時に店員のマドモアゼルが持ってきてくれたビールを海辺のテラスで頂き、晴れた午後の港町をたっぷりと満喫出来ました。

またニース市内の美術館に行くときのバス停で、おばあさんにどのバスに乗ればいいのかを片言英語で尋ねると、当然フランス語の返事でまったくわからず、でも美術館の名前を言うと、すぐに「ウイ」という返事に安心してバスに乗ったことが楽しく思い出されます。（続く）

長谷川光男

となった）。このセミナーは、空き家バンクに登録するという、やや受身的な空き家対策でなく、対面による直接的な話し合いにより、問題点を表面化させ、空き家になっている原因を明確にすることにより、より解決に結びつける良い方法と思われる。さらに市として空き家（中古住宅）の流通を促進させるために税の特別控除（国）や物件の情報提供の強化、流通を促進させるための専門家の派遣制度などを整え、具体的な促進を図っていく考えだ。

もう一方で、空き家の活用については、発生しているその地域の活性化や住みやすさを目指した活動拠点づくりを目的として、コミュニティビジネスなど、地域住民自らが主導する事業化によって実現に結び付けていくことが重要だと思われる。

（長谷川光男）

「高森山公園つくる会」が定期総会

「魅力ある高森山をつくる会」の第4期定期総会が3月27日、東部市民センターで開催された。

同会は「高蔵寺どんぐりs」内の独立部会。堀内泰代表の留任や運営委員の増員を決めたほか新年度方針を採択した。方針では「高蔵寺まちづくり会社」や行政機関との連携を強める。生きがいのある「まちづくり」の一環として、だれでも利用しやすい魅力ある高森山公園をめざし、散策路などの整備を続けるとともに、「ツツジを見よう会」などのイベントを開催する。特にササユリやカンアオイなどの希少植物の保護育成に力を入れている。

すまい困りごと無料相談

●電話または直接面接会場にお越しください

☎080-5297-8956（長谷川）

面接相談会日時：4月17日（土）、5月15日（土）

（ともに13：30～15：30）

会場：東部ほっとステーション

（サンマルシェ南館1階）

ハート・ほっと・ルーム

日 時：4月25日（日）、5月23日（日）

（ともに13：30～15：30）

会 場：東部ほっとステーション

参加費：無料

連絡先：☎090-6330-4393（浪川）